

返納だけで本当に良いのか？

認知機能低下と
運転免許制度についての
意識調査

2015/9/25 JAF Mate編集部 鳥塚俊洋

2002年施行

免許の取り消し等が法制化(道交法103条第1項)

2009年施行

75歳以上の更新時に講習予備検査導入(道交法97条など)

2014年施行

逆送事故が危険運転致傷罪に(自動車運転死傷処罰法)

2015年(改正道交法可決)

認知機能検査を大幅強化。

逆走時などにも認知機能検査を実施

●2015年7～8月インターネットにて実施 ●有効回答数 3039件

●30歳台以下8%

40歳代18%

50歳代31%

60歳代32%

70歳代以上11%

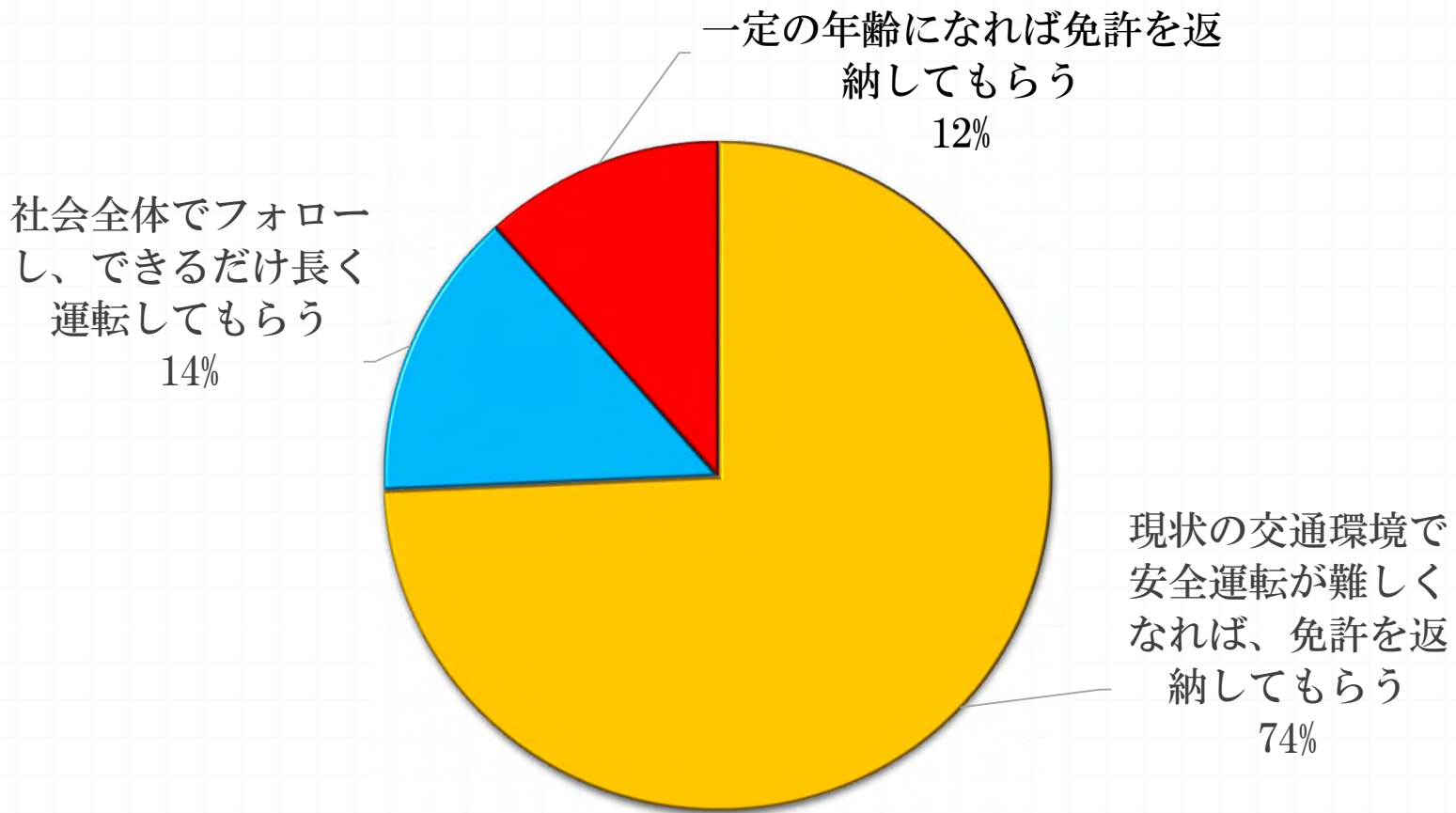
●回答者の自動車運転免許保有率 100%

●回答者の運転頻度

・毎日～週に数回 92% ・月に数回～ごくたまに 8% ・運転しない 0%

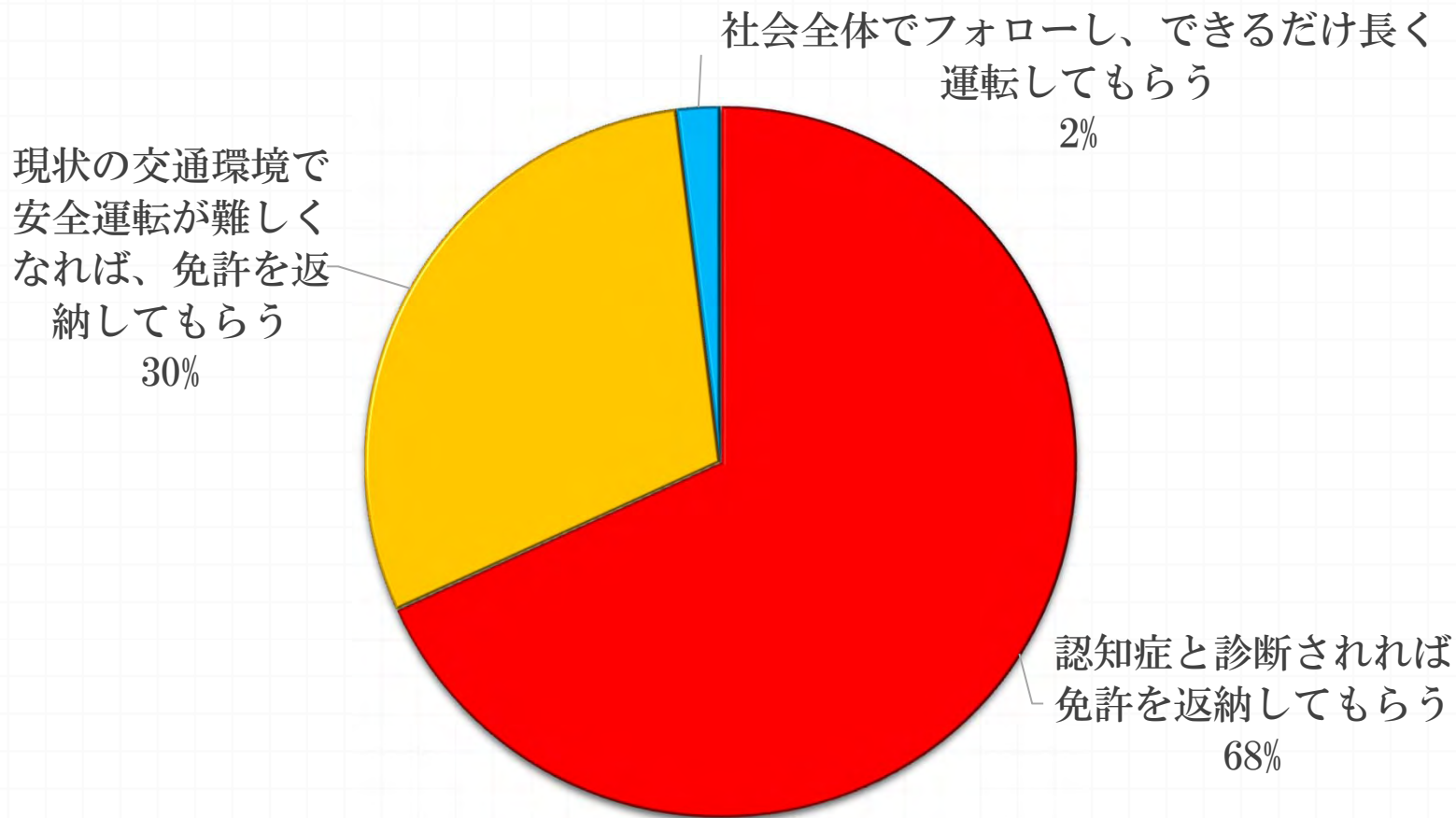
●認知症と診断された人、MCIの指摘を受けた人は0% → 認知機能の健常者
(ただし、不安がある人6%を含む)

JAF Mate 高齢者ドライバーに関する アンケート2015



Q:

高齢者の方の運転継続について、
どう思いますか？
最も近いものを選んでください。

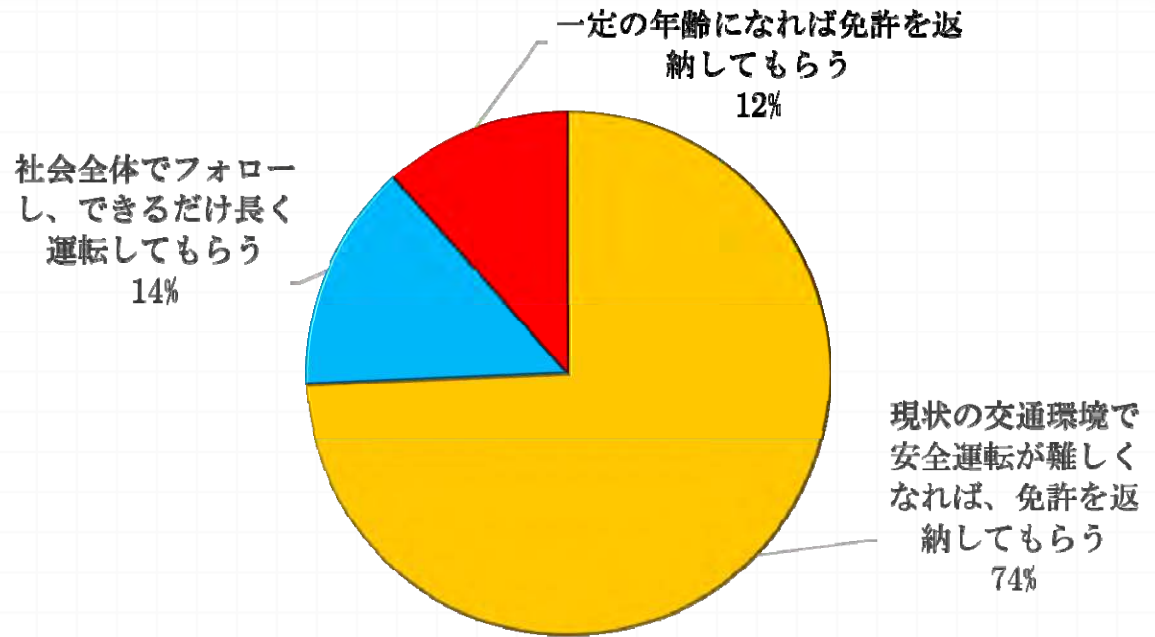


Q:

認知症の方の運転継続について、
どう思いますか？
最も近いものを選んでください。

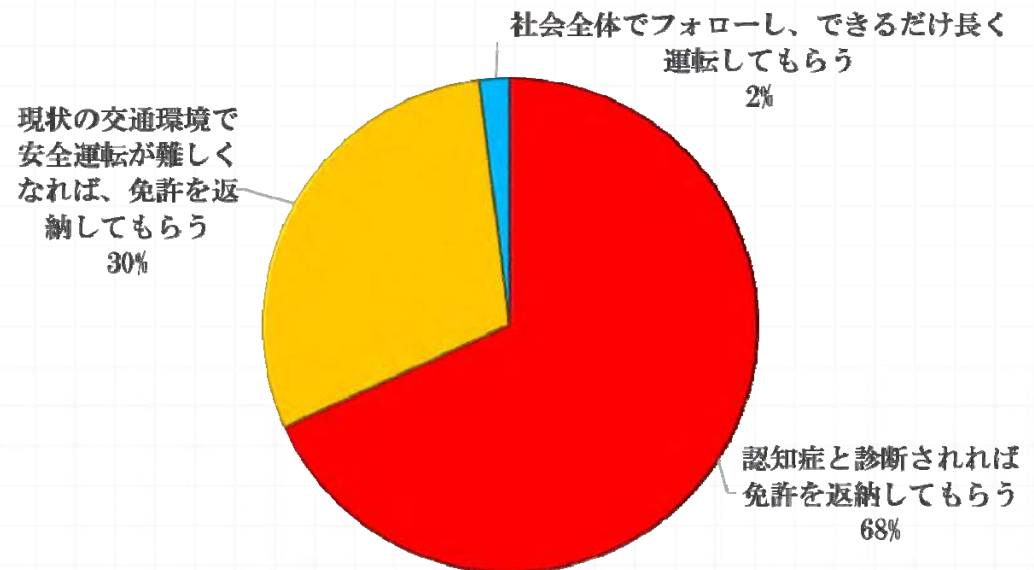
Q:

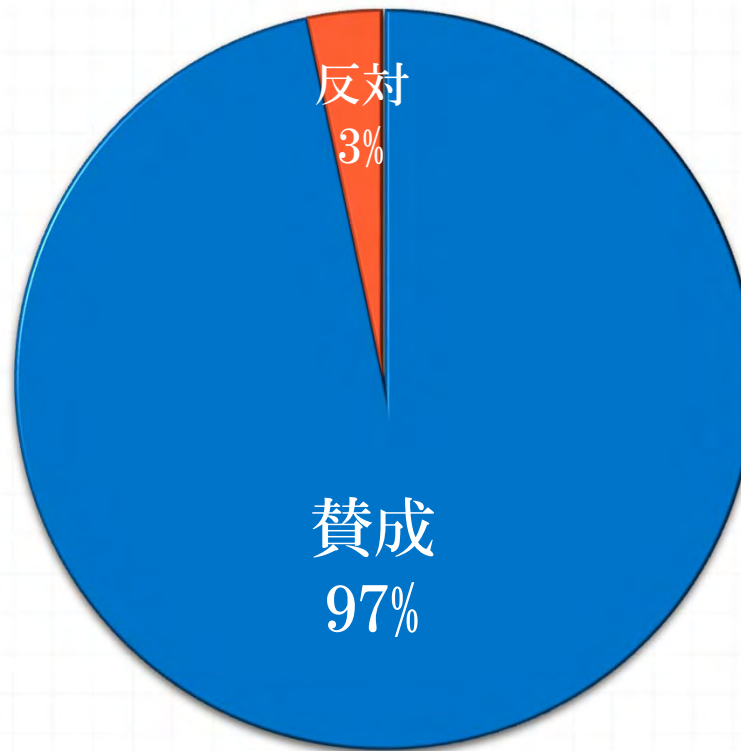
高齢者の方の運転継続



Q:

認知症の方の運転継続





Q: 免許更新時の認知機能対策が強化されますが、あなたは賛成ですか反対ですか？

社会的に、認知機能が低下したドライバーは、
高齢者ドライバーよりも、
さらにリスクの高いドライバーとしてみられている。



現実には……

認知機能が低下したドライバーによる事故実態、
認知機能の低下と運転能力の関係は、
十分に調査・研究されているとは言えない。

そのような中で、
「認知機能が低下したら”即”免許返納」の流れが急速に強くなりつつある。

また、当事者である認知機能が低下したドライバーの声が、
反映される環境が整っていない。

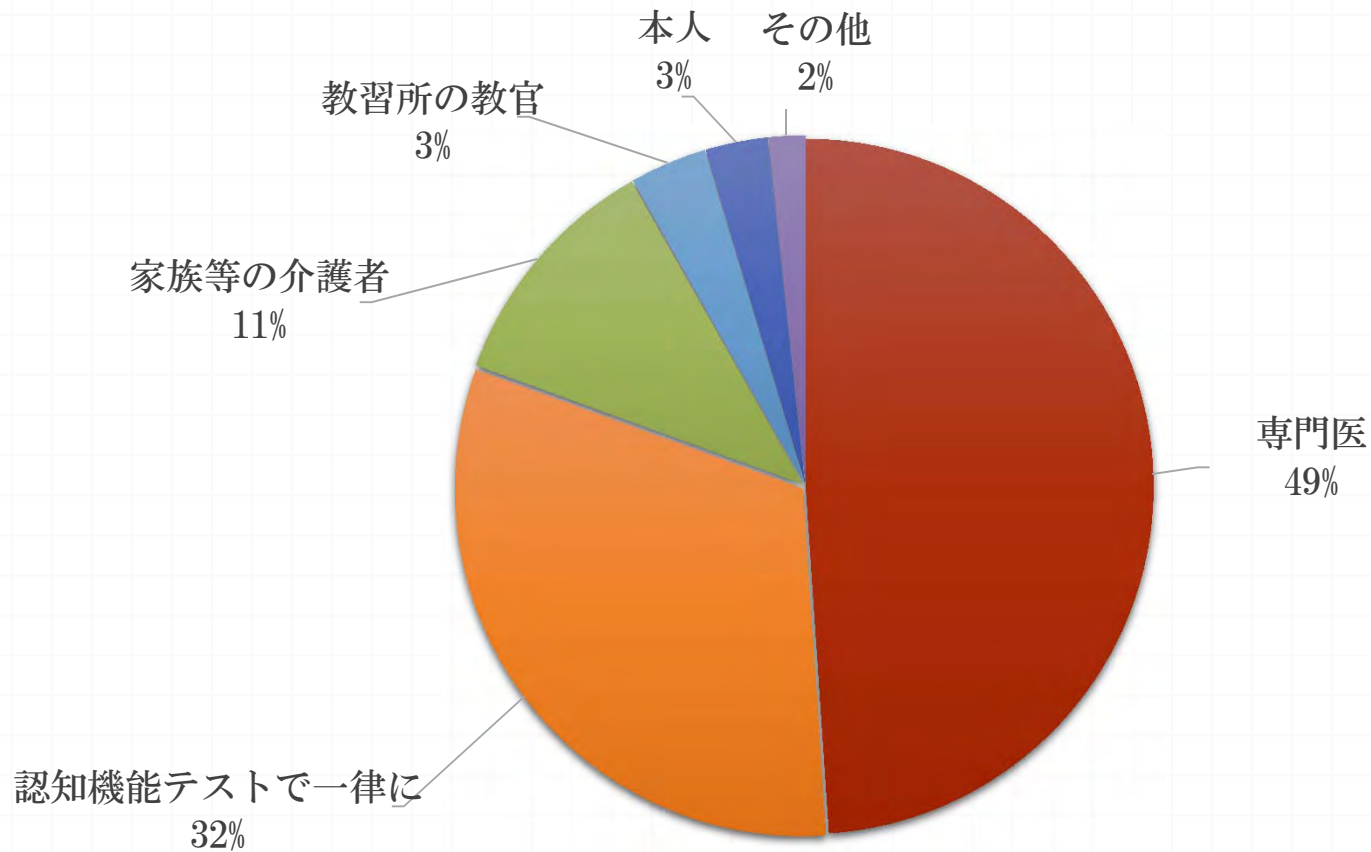
- 強制的に運転を奪うことは、認知機能の低下を進める可能性がある。
- 認知症の種類によって、運転への影響はさまざまであることが分かってきた。
- マイカーがなければ生活が破綻する地域がある。

もちろん、事故防止は最優先されないといけない



認知機能が低下したドライバーの問題は、
しかも、その数が急増するのが明らかなか中で、
本当に、免許返納だけで解決するのか？





Q: 認知機能低下による免許返納を強制する場合、
その主な判断は
誰が行うのが適当だと思いますか？